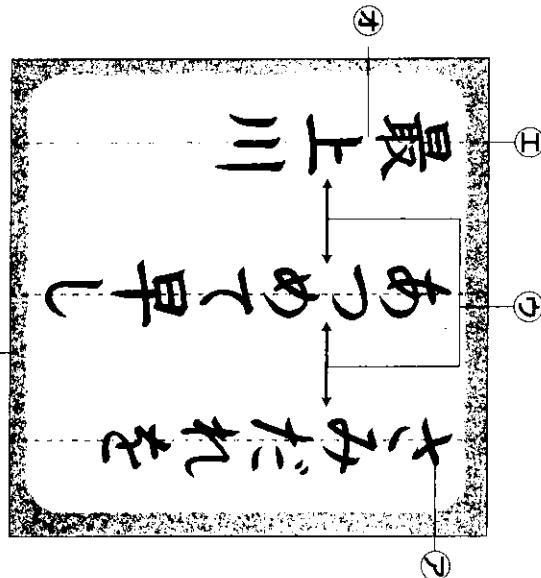


つづく



を取る。

用紙の上下左右に

用紙の大まかで文字數を書き、文字の

を決める。

--

用紙の大まかで文字數を書き、文字の

回りかにわたりて書くと、次の点に並べて配列する。★

用紙に控つた文字の大まか配列

に当てはまる言葉を入れて、大切なことを確かめよう。

--

名前	日	月
----	---	---

(一) (二) (三)

用紙に控つた文字の大まか配列

④

「あひるたんこ」のたんこを書く。



△=少しき
○=多く

・用筆で口の大きさの大きさ配列を書いてみよう。

・回数を多くする。

③ 学習を少し戻す。

(音素口山)

夏がめぐって、たとへ。

なんどおにがた、今年も

舌で初かつかけを練習する。

耳ではじきせず、声を聞かせ

【意味】 目で書くがため

初が「き」

山は「さん

「目には青葉



部位や大きさは大きさで、
一画面の範囲で書く。

最も川

あつめて早

「みだれを

② 学習したこと生きかして、フェルトで書きながら書こう。